

“上田さん、暖かくなったら福島へ行くからね”という友人がいます。しかし、福島へ・会津に来るのは今・冬でしょ！

雪の会津に魅せられて

東京では、雪が降ったらニュースになります。しかし、ここ会津では毎日が雪ですが、ニュースにはなりません。「今日の会津は晴れています」がニュースです。檜葉町でも雪が5cmぐらい積った時、新潟県柏崎市から来ている応援職員の人が、「これは雪ではない。50cm～1m以上積っているのが雪だ」と言いました。

2月には会津の各地で雪祭り（冬祭り）が行われます。毎日の生活に不便をもたらす雪を地域の活性化に変える試みです。

第46回只見ふるさとの雪まつり

私は、2月11日、只見ふるさとの雪まつりに行きました。会津若松から只見までは、車で約2時間かかります。JR只見線は、2011年の水害で、会津川口駅⇄只見駅間で不通になっています。会津バスのツアーは、往復1,700円でした。そのうえ、500円の食券付きです。

行きは車道には雪がありませんでしたが、帰りは車道の約5cmの雪が積もりました。思ったことは

- ①車道には雪は無いが、歩道には約50cmぐらい雪が積もっている。歩行者はいったいどこを歩くのか。
- ②荷物のキャリーバッグは駄目です。雪道では曳けません。冬タイヤ付のキャリーバッグがあればいいのに。

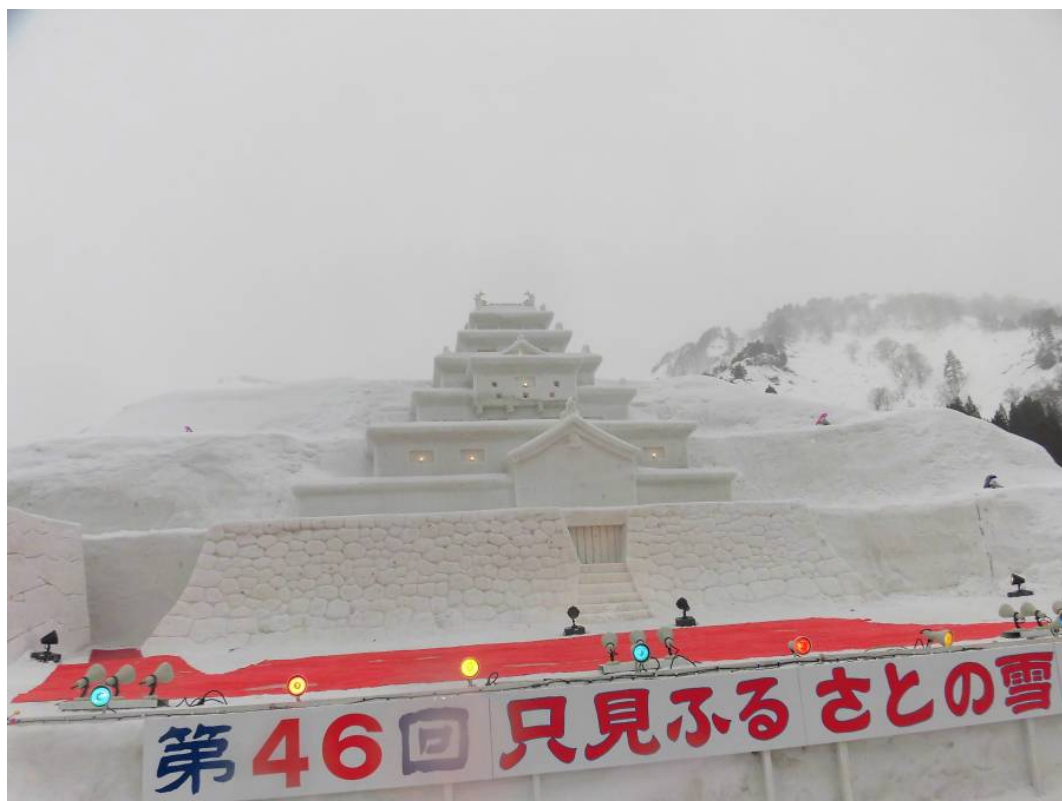
只見の雪まつりの舞台の後ろには、戊辰戦争150年（明治維新150年ではない！）を記念して、会津鶴ヶ城の雪像があります。この雪像は、10tダンプで1,000台分の雪を運んで来て、作られたものです。

午前中はあいにくの吹雪です。出演者も寒さで大変です。スタッフの役場の職員の人達も大変です。私は、豪雪地帯で、新聞配達や郵便配達や宅急便の人たちの苦勞に思いをはせました。

今会津は、外国人達によって、その良さがSNS等で全世界に発信されているとのことです。地元の人にとっては当たり前のことが、外国人にとっては、こんな田舎が（失礼！）素晴らしい自然に写るのです。確かに、泊まったホテルのロビーでも、中国語が飛び交っていました。会津に爆買いする店は余りありませんが。このままでは、会津は「一体一路」の中国に取り込まれてしまうのでは、と心配です。

雪まつりが終われば、後1カ月で、会津には待ちに待った春がやって来るのです。

【舞台の向こうは戊辰戦争 150 年の会津・鶴ヶ城の雪像（只見ふるさとの雪まつり）】



【国道の両側は雪雪雪 進行方向左側は JR 只見線、右側は只見川（奥会津）】

